

承認番号	2020-001
研究課題名	十二指腸静脈瘤に対するカテーテル治療における後方視的研究
研究の意義・目的	十二指腸静脈瘤の治療として、内視鏡治療や手術の他に、カテーテル治療があります。カテーテル治療は瘤の入り口からの治療経皮的静脈塞栓術 (percutaneous transhepatic sclerosis:PTS)、出口からの治療バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術 (Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration:B-RT0) が挙げられますが、標準的治療は未だ確立されていません。近年カテーテルの進化により、より侵襲性の低いB-RT0での治療が多く行われるようになってきているのが現状です。カテーテル治療を行った症例について後方視的検討を行い、その有用性の研究を行います。
研究を行う期間	2001年1月1日～2021年12月31日
研究対象者の範囲	2001年1月1日～2019年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の放射線科で十二指腸静脈瘤のカテーテル治療のため入院された方が対象です。
お願いする内容	<input type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。 <input type="checkbox"/> 診療記録、CT画像、血管造影画像、内視鏡画像を研究に使用します
頂いた試料・情報の提供方法	該当なし
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学講師 城後 篤志
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学 大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ocucrb/
研究の成果を公表する方法	学会発表や論文にて公表予定である
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	城後 篤志 大阪市立大学医学部大学院医学研究科放射線診断学・IVR学 講師 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話：06-6645-3831 FAX：06-6646-6655